

## 昨年の森林教室にて



種取実施中！  
ガンバって



発芽試験、細かい！

昨年の9月27日と10月28日に森林教室を行いました。この森林教室では「エゾマツ・アカエゾマツ」の種を現地で道具を使用して採取しました。その後、種を取り出し発芽試験を実施しています。この残った種は次の春に播種する予定で保管しました。

# 地域のもりから学ぶ森林づくり2012

## 「森林の生物多様性を学ぶ」第一回森林教室

今年、最初の森林教室は昨年秋、奥定山溪で採取した「エゾマツ・アカエゾマツ」の保管していた種を播種する内容で「もりをそだてよう・もりを学ぼう」と題して5月10日（木）、桜が満開の定山溪中学校で行いました。

実際にどのように播種するのかは「林木育種センター北海道育種場」の



竹田育種技術専門役と



小園収集管理係長

のお二人に指導してもらい、播種を行いました。

播種の方法は、最初に「土」作りからです。撒く種の条件に合わせて3種類の土を混ぜ合わせました。（写真上）それを播種するための専用のトレーに土を入れしっかり水をかけました。（写真上から2、3枚目）ここに種を二粒つつ播きました。（写真下から2枚目）後は、苗床に並べ寒冷紗を施設してできあがりです。竹田さんからは一週間から10日くらいで芽が出るので、水を切らさずしっかり管理するよう指導を受けました。

一冬超した種達がどのように成長するのか、今から楽しみです。

### —3年目の森林教室と生物多様性について—



定山溪中学校での「森林教室」も今年で3年目。この3年間で振り返ってみました。また学習の目的である「森の生物多様性を学ぶ」を再度、学習してみました。説明は、落合自然再生指導官で自然は色々な生き物たちが個性を生かし生きていて、人間もその仲間であり、その中で自分達で出来る事を考えてみようとの内容でした。

